

平成30年度 第3回 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた検討委員会

# 効果検証の実施方針（案）

平成30年12月21日

# 1. 効果検証の目的

- 本事業の実施（バス、モノレール、船舶、観光施設等の情報を県が統一した整備基準にデータを加工・提供しオープンデータ化を図る）により、以下のような効果が発現することが見込まれる。

## 1. 情報発信

WEB等における観光地への公共交通等でのアクセス情報発信が拡大する

- ・ Googleマップや検索サイトで情報検索できるようになる
- ・ 観光地側の情報発信の改善 など

## 2. 検索行動

旅マエ、旅ナカ等において公共交通等での観光地への行き方を閲覧し、検索するようになる

## 3. 実際の行動変容

観光2次交通の分散化につながる

- ・ 路線バス、モノレール、離島船舶等の利用者の増加
- ・ 現状として過度にレンタカーに偏った需要の分散化 など

- 上記のような事業の効果を適切に把握することは、交通事業者や観光事業者、関係者の理解の促進やモチベーションアップに寄与し、事業後（2020年度以降）の自走化につながるものと考えられる。

- そのため、事業効果を可視化し、交通事業者や観光事業者、関係者と共有することを目的に、以下の項目等について、効果検証を実施する。

※オープンデータ化の状況を踏まえ、今年度は項目等の検討と、必要な事前調査（八重山・宮古）を行うことを想定。

## 2. 効果検証の実施項目等について（案）

本事業のオープンデータ化の取り組みにより、①移動手段の情報発信ツール（GoogleMAP、観光施設のHP等）拡大、改善等 →②移動手段の検索数の増等 →③バス、船舶等の利用者増等、ということが想定されるため、下記の項目等により検証を行う。

### （1）観光2次交通にかかわる情報発信状況の前後比較

■県内の観光地等への移動検索の状況について、事業前後での情報発信状況、オープンデータの活用状況について比較し、観光客等の利便性向上等の観点から検証する。

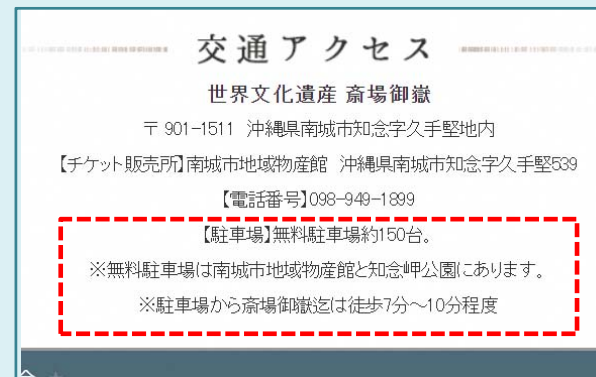
- ①Google、Yahoo等の大手検索サイトや、民間のコンテンツ・サービス等での検索状況
- ②県内の観光地等での情報発信状況
- ③オープンデータを活用した新たなサービスの創出状況 など

■上記の情報発信状況等をWEB等により確認し数値化（例：10/50→25/50へと増加など）

大手検索サイトでの検索状況



県内の観光地の情報発信



新たなアプリ等の開発



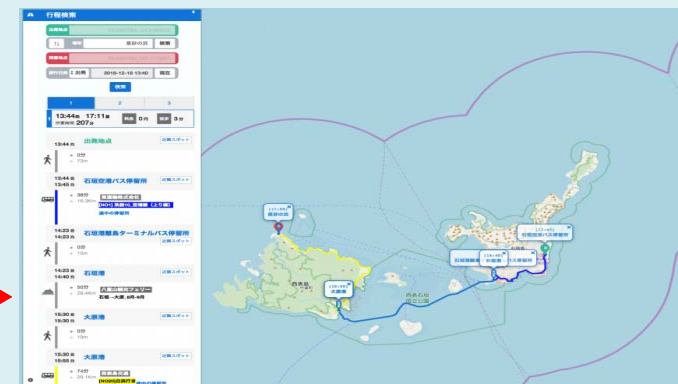
## 2. 効果検証の実施項目等について（案）

### （2）公共交通等での観光地への移動検索のアクセス数、利用者数（検索回数）等の把握

- オープンデータの整備により、観光地への経路検索ができるようになり、WEB等での情報発信が進むと、当該WEBサイトへのアクセスや観光地への具体的な行き方検索が行われることが想定される。
- そのアクセス数や利用者数、経路検索回数等を把握することで、本事業による観光行動への影響度合いを推察する。

- ①Google、Yahoo等の大手検索サイトでの検索状況（※協力可否、提供可能データ等について要確認）
- ②県内の観光情報サイトや観光地と連携した取組

参考 観光系WEBサイトに  
オープンデータを活用した  
経路検索サービスを埋め込み、  
アクセス数や経路検索回数を把握



- また、観光客が事前にどのようなツール（Google、個別会社のHP、クチコミ、旅行ガイド誌、現地観光案内所等）から移動手段を検索するのかその割合について、大手検索サイトや主要な観光情報サイトへの聞き取り等の調査及び観光客へのWEB・紙アンケート等実施により確認

## 2. 効果検証の実施項目等について（案）

---

### （3）観光行動（交通手段）の変容状況の把握

■観光2次交通に係る情報発信状況の変化や、観光地への移動検索ができるようになった結果として、観光客の交通手段に変化が生じているかを把握する。

①路線バス、離島船舶等の利用者数（便あたりの利用者数や前年同月比較など）

②調査員による路線バス、離島船舶利用者（観光客）へのアンケート調査

- ・旅マエの観光地への移動手段の検討方法
- ・レンタカーとの比較検討状況
- ・今回の旅行での移動手段の決定要因
- ・旅ナカでの観光地への移動手段の検索方法 など

■交通事業者等への聞き取り等の調査及び観光客へのWEB・紙アンケート等実施により確認。

## 3. 今年度の事前把握調査内容（案）

■八重山・宮古の事前状況の把握として、以下の調査の実施を想定。

（Googleマップ等に掲載された後（次年度早期を想定）、事後の調査の実施を想定）

### ①観光2次交通にかかわる情報発信状況の事前状態の把握

- ・八重山・宮古を対象に実施
- ・大手検索サイトでの検索状況、観光地での情報発信状況の事前の状況を整理

### ②路線バス、離島船舶の利用者（観光客）へのアンケート調査

- ・八重山を対象に実施
- ・2月頃の実施を想定
- ・路線バス、離島船舶を利用する観光客を対象に空港、離島ターミナルで、調査員の聞き取り形式の調査を想定
- ・調査規模は国内外観光客計100～200名程度を想定

※事業者の協力が得られれば、調査規模の拡大を検討（空港のバス案内、離島ターミナルスタッフ等）

- ・聞き取り内容は概ね以下の項目を想定
  - ✓個人属性（年齢・性別・発地）
  - ✓旅マエの路線バス、離島船舶情報の収集方法および困ったこと
  - ✓旅ナカの路線バス、離島船舶情報の収集方法および困ったこと
  - ✓今回の旅行での交通手段の決定要因（レンタカーとの検討状況） など